静岡 ユースサッカー
THE YOUTH SOCCER

11月1日木曜日
昭和48年（1973年）
発行所
静岡県清水市サッカー協会
発行人 協会理事長堀田哲爾
編集人 サッカーニュース社
二本木一夫
清水市住吉町9－6
電話（0543）67-1970（清水ゴール）
編集専用電話66－5282（代）

PEPSI

雨の浜名か自動車工か！

昭和四十八年度 高校サッカー選手権
64校が予選で激突！

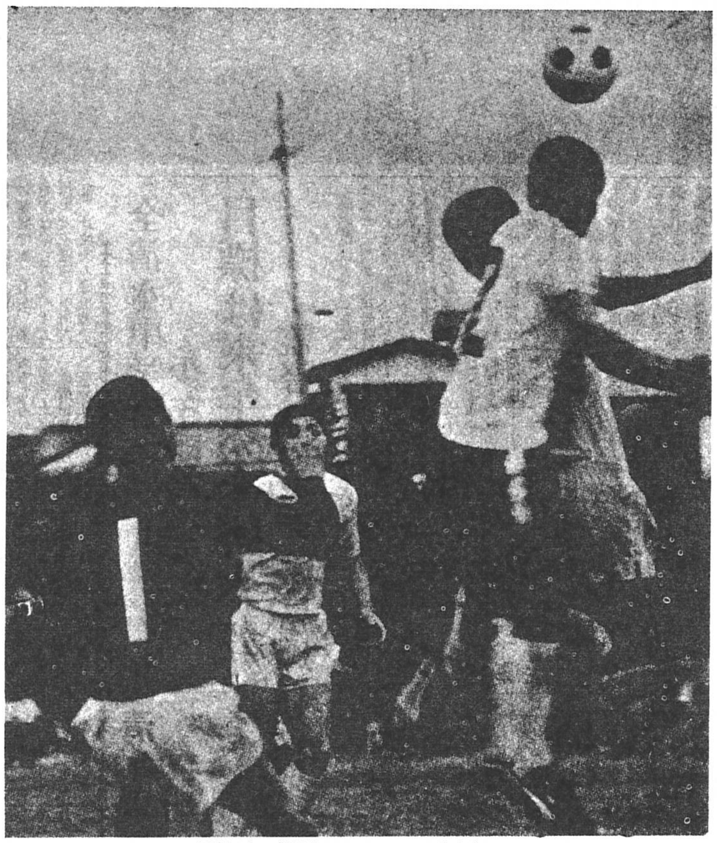
出場六十四チームの四十八年度高校選手権大会静岡県予選大会は十月二十八日を一回戦とし、ベスト8までは完全トーナメント、二次予選をチームづつのリーグ戦。ベスト4はトーナメント方式と強化と完全な予選強チーム出場のシステムをとっての大会となった。

組合わせからいってシードチームの清水東、静岡学園、浜名、自工、藤枝東はベスト8へは間違いなく行けるだろう。他の榛原も苦しいながらもベスト8入りは可能。藤枝北は一回戦で清水商とあたり、まずここで勝った方が残るであろう。日大三島は、ここのブロックでノーシードの静岡工業があり苦しい。

ベスト8のリーグでは清水東、藤枝東、静工、藤北か清商となるであろうが、リーグに強い藤枝東がトップで出て来るであろう。

もう一つのリーグでは自工、静学、浜名、榛原となるであろうが、ここで自工と浜名の一位あらそいが準決で藤枝と対戦するか、の一つの勝負どころであろう。

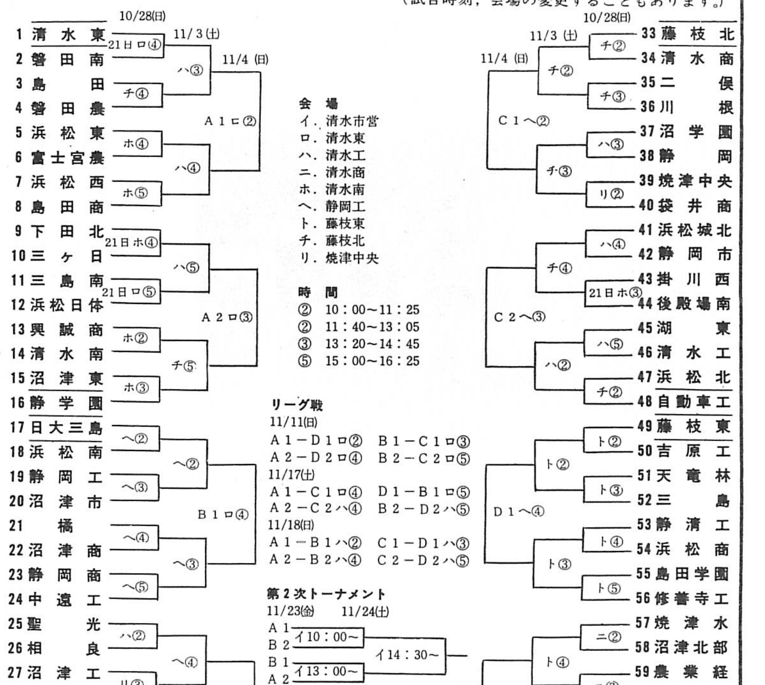
しかし学生サッカーは、小細工をせずベストの力で望んだ方が、今後の育成の面からみて大切な要素となるであろう。浜名、自工、藤枝東この三つの力はまったく互角。雨が降れば浜名が優位であるが、優勝チームは三つの中から出る以外予想がつかないだろう。



写真は自工対浜名のインターハイ決勝戦

48年度全国高校サッカー選手権静岡県予選大会

（試合時刻，会場の変更することもあります。）



10/28(日)
11/3(土)
11/4(日)
1 清水東
2 磐田南
3 島田
4 磐田農
5 浜松東
6 富士宮農
7 浜松西
8 島田商
9 下田北
10 三ヶ日
11 三島南
12 浜松日体
13 興誠商
14 清水南
15 沼津東
16 静学園
17 日大三島
18 浜松南
19 静岡工
20 沼津市
21 橘
22 沼津商
23 静岡商
24 中遠工
25 聖光
26 相良
27 沼津工
28 静岡東
29 東海工
30 韮山
31 東海一
32 浜名
21日ロ④
チ④
ホ④
ホ⑤
21日ホ④
21日ロ⑤
ホ②
ホ③
へ②
へ③
へ④
へ⑤
ハ②
リ③
リ④
リ⑤
ハ③
ハ④
ハ⑤
チ⑤
へ②
へ③
へ④
へ⑤
A1ロ②
A2ロ③
B1ロ④
B2ロ⑤
33 藤枝北
34 清水商
35 二俣
36 川根
37 沼学園
38 静岡
39 焼津中央
40 袋井商
41 浜松城北
42 静岡市
43 掛川西
44 後殿場南
45 湖東
46 清水工
47 浜松北
48 自動車工
49 藤枝東
50 吉原工
51 天竜林
52 三島
53 静清工
54 浜松商
55 島田学園
56 修善寺工
57 焼津水
58 沼津北部
59 農業経
60 静岡市商
61 稲取
62 浜松工
63 小笠農
64 榛原
チ②
チ③
ハ③
リ②
ハ④
21日ホ③
ハ⑤
チ②
ト②
ト③
ト④
ト⑤
ニ②
ニ③
ニ④
21日ホ⑤
チ②
チ③
チ④
ハ②
ト②
ト③
ト④
ト⑤
C1へ②
C2へ③
D1へ④
D2へ⑤

会場
イ．清水市営
ロ．清水東
ハ．清水工
ニ．清水商
ホ．清水南
へ．静岡工
ト．藤枝東
チ．藤枝北
リ．焼津中央

時間
② 10：00～11：25
② 11：40～13：05
③ 13：20～14：45
⑤ 15：00～16：25

リーグ戦
11/11(日)
A1－D1ロ② B1－C1ロ③
A2－D2ロ④ B2－C2ロ⑤
11/17(土)
A1－C1ロ④ D1－B1ロ⑤
A2－C2ハ④ B2－D2ハ⑤
11/18(日)
A1－B1ハ② C1－D1ハ③
A2－B2ハ④ C2－D2ハ⑤

第2次トーナメント
11/23(金) 11/24(土)
A1－B2 イ10：00～
B1－A2 イ13：00～
イ14：30～

第一回コーチャーズアソシエイション
清水市で開催！

日本サッカー協会の中にコーチが自主的につくっている組織に、コーチャーズアソシエイションがある。今回よりこの仕事の内容及び会員からの技術に関する事がらをのせていきたいと思う。

第一回の発会式を兼ねた東海地区アソシエイション大会は、イングランド研修報告会を兼ね十一月四日清水辻小学校で行なわれるが、県下より七十名のコーチが集まることになっている。

会員は二百人いるが、今回はそのリーダー役によってパネルディスカッションが行われる。

イングランド報告会には、少年の話を望月保次氏、中学生の報告を高田稔氏、高校指導面について杉田基之氏、社会人のプロとアマチュアー選手について井田勝通氏、総合評価と指導の組織づくりについて堀田哲爾氏が報告する。

なお当日は日本サッカー協会技術委員の宇野勝氏が来静「グリッドを使った少年指導」をテーマに二時間の実技指導が行なわれる。

当日の参加は自由であるが実技は会員のみが参加できることになっている。

なお静岡県コーチャーズアソシエイションの発足会は報告会前の三十分で行なわれるが、役員の決定と事業計画を決め、会員の解認をすることになっている。

なおコーチャーズアソシエイションは、技術の向上が目的であり、他集団への圧力とか助成とかは一切せず、研修の場としてのみ存在することを忘れてはならないだろう。

第5回静岡県社会人サッカー 2部西部リーグ成績表

順位	チーム	勝数	負数	引分	勝点
1	クラベ	6	0	3	15
2	本田浜	6	1	2	14
3	積水	6	1	2	14
4	矢崎	6	1	2	14
5	紫ク	4	4	1	9
6	日楽	2	4	3	7
7	自静	2	4	3	7
8	明菓	3	6	0	6
9	興誠	0	7	2	2
10	東ベ	0	7	2	2

社会人二部リーグ
クラベ初優勝！

第五回静岡県社会人サッカー二部リーグは九月十六日藤枝市民グランドでの第九節を終え全日程を終了した。

この結果KKクラベが勝点15で初優勝、続く三チームが勝点14と並んだが得失点差で本田浜友会が二位に、同じ得点差から、得点率で東海積水が三位、以下矢崎島田、紫クラブ、日本楽器、自衛隊静浜基地、明治製菓、興誠OBク、東洋ベアリングの順となった。

得点王は東海積水の杉村誠（15点）アシスト王は本田浜友会の堀畑辰則（8点）

東海積水の杉村はチーム総得点30点の丁度二分の一をあげたが、ゴール前でのカンのよいつめが好成績の最大の原因、アシスト王は混戦の中から後半の追込みが決って二位に僅か一点差でタイトルを獲得した。

優勝したKKクラベはスタート、下位チームに二引分けを記録、前途があやぶまれたがバックスの堅い守りで盛り返し、一位独走の矢崎島田を1－0で破りトップグループにつき、最終節では紫クラブを3－1で破り見事逆転に成功したもの。

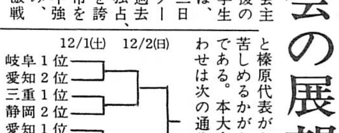
二位の本田浜友会、三位の東海積水、四位の矢崎島田は得点力ではクラベをはるかにしのぐ力を持ちながら守備力の僅かの差がそのままの成績に現われていた。

東海四県小学生大会
県予選と本大会の展望

東海サッカー協会主催、毎日新聞社後援の第四回東海四県小学生少年サッカー大会は、今年も十二月一日二日と愛知青少年センターで行なわれるが、静岡県勢が上位を独占、過去少年サッカー王国を誇っていたが、四日市をはじめ各地区も少年強化に真剣に取り組み、今年は予想以上の激戦となろう。

十一月十一日にはその代表を決定する静岡県予選会が浜松の和地山で行なわれるが今年も清水、藤枝の優位は動かないであろう。

参加チームは少年団ブロック八地区代表八チームで行なわれるが、全国大会で準優勝の清水は代表の第一に予想されよう。藤枝につぐ、静岡、浜松、そして最近力をつけて来た東部と榛原代表がどれほど苦しめるかがたのしみである。本大会組み合わせは次の通り。



12/1(土)
12/2(日)
岐阜1位
愛知2位
三重1位
静岡2位
愛知1位
三重2位
静岡1位
岐阜2位

編集ノート

◆プロ野球、乱戦セリーグの最終戦は巨人対阪神の優勝を決めるゲームとなって、全国のファンをテレビの前に釘付けにした◆これはスポーツ紙の記事ではない、各家庭に配達される一般紙の社会面によって報道されたものである◆九月の始めに横浜の友人からの電話の中で「清水の少年サッカー残念だったね、テレビで見たよ」と話しかけられた、君はプロ野球と中央競馬だろうと笑うと、最近はサッカーの放送も多くなったからねという返事である◆新幹線なら、上下共、一時間足らずで六、七局の電波に恵まれた町に着く、そこが人口二、三万の小さな市町村であっても◆野球はフィナーレだがサッカーはこれからがシーズンである。電波のチベット脱出と、地元の少年サッカーが海外の水準に並ぶのと◆あなたは、どちらにかけますか。（二本木）

第28回国体 高校の部

二年ぶり六度目！
埼玉を破って優勝
芙蓉は緒戦で惜敗！

鹿児島、沖縄と埼玉に二連敗していた静岡県高校サッカーが二年ぶりに第六回目の優勝をとげた。しかしながら全国のレベルは互角の力となり、今後の大会はもはや力プラス幸運がなければ優勝はむずかしくなってきた。

一回戦の岡山に2対0、二回戦の茨城とはPK戦でひろい、三回戦神奈川は延長で4対2。準決勝でやっと本来の力が出て大阪に2対0、そして決勝では宿敵埼玉を2対1でくだし優勝した。

本年は長池、美和、勝沢の三ベテランを思い切って起用。高体連からは批判の声はあったが、今の高校サッカー界でチームを正常にもどす方法はその道しかない、と技術委員会で結論を出したのが成功した。

今後は若手の指導者を思い切って起用し、巾広いサッカー指導者をつくることを考えたいものである。

総合優勝の夢をのせた芙蓉の出場であったが、若さを暴露して一回戦で埼玉に敗れた。特に遠藤、古川のけががゲームにさしさわり埼玉のエース関根をマークしていた高田の不調がひびき4対1の完敗であった。

しかし敗れてその真価が出るスポーツ界、芙蓉は天皇杯の出場も決っているだけにがんばってほしいものである。

▽高校決勝
静岡2（1－0 1－1）1埼玉
（静岡は二年ぶり六度目の優勝）
【埼玉】4・3・3
藤井岸 田中野楽田口津
斉金根 黛 奥田西設梅堀大 7 2 11 8
K B B W K K K H
G F H F G C F S
隆郁田藤木村木部村米原 6 2 4 9
石石
大大岡内平河鈴服中久金
【静岡】4・3・3
▽交代【埼】松村（堀口）
▽得点者【静】服部、中村【埼】大津
▽アシスト【静】中村、金原【埼】根岸

イングランドのサッカー

FAコーチングスクール 堀田哲爾

芝生とゴールのあるところには日曜日になると子ども達が集まって来る。一つの公園に一人の指導者がやって来た。これがイングランド・サッカー協会が考え出したパークスキームである。

一人でやってきたコーチはすぐ上衣をぬいではだかになり、ボールを持って少年の指導をはじめた。一人一人の細かな指導はしないが、一人一人に考えさせることに集中している。

特にキーパーの指導には力を入れている。四才位の子どもにゴールにドリブルで進んで来たプレーヤーに対して、どうして守るべきかを質問していた。

四才の少年はセービングをすればよいと答えた。するとコーチはドリブルしてゴールに向かって来る。四才の子どもはセービングをしてもとれないことを知る。再びどうしたらよいかを聞かれた少年は、ボールをとりに行くと答えた。

「グッド」おや指をたてて大きな声でほめた。

ゴールキーパーはゴールを守るために一対一になったらゴールより遠いところで戦ったほうがよいことを四才の子どもに気づかせている。その間10分である。一人のためにそのコーチは10分かけて育てているのである。

このコーチは二部リーグのプロ選手のピーターを名のった。彼等は自分の受けている恩恵を次代をになう子どもに受け継いでいる。本当の姿だと感じた。

よく日ヒリントンの町にあるヒリントンFCの少年スクールに行った。そこには多くのコーチがいたがそれぞれの特色ある人がチーフとなって指導していた。

我々がコーチであることを知ると、いっしょに指導してほしいといわれ子どもの中に飛びこんだ。

彼等が教わったフェイントは決してうまくないが、ごく自然に自分があみ出したフェイントで人をぬくことを知っている。三人のコーチはそれぞれ年令別チームの主任となって二十名ずつを一つのグループにして指導していたが、カメラマンが来るとポーズをとるのが非常にうまい。自然にしかもよい絵をつくり出す。コーチは「マスコミを利用すべきである」という考えが徹底しているわけであろう。おもしろいことに参加している子のユニホームは思い思いのものを着ている。そしてプロの有名選手の服装と同じであり、もちろん背番号も同じである。「君の名は？」と聞けば「ジョージベスト」とか「クライフ」とか「ペレ」の答えが返ってくる。もちろん予想した「ブラジル」のユニホームの10番はちゃんと「ペレ」と答えていた。

▲写真はリヒントンFCでの平木氏と少年の1対？
クリスタルパレス・ナショナルスポーシセンター
サッカー場を中心にできている総合グラウンド

少年リーグ三日に閉幕！

終盤を迎えてのチーム打診！

十一月三日を王座決定戦として今年の少年リーグが終了するわけであるが、各団とも今年ほど充実した年はないであろう。その為かチーム差が非常に小さくなり、清水市少年サッカーのレベルが一般とあがって来ているといえる。

東部では辻の強化が成功している。鈴木石根氏が若い鈴木淳氏を育てあげ、ジュニアー五年、六年共に強チームに仕上げたのはりっぱである。江尻は酒井陸夫氏と中山氏が良いコンビとなってチーム作りに生きて来ている。バックの強さは市内一だろう。小島も地区をあげての声援は、自然子どももハッスルして来ている。小花公生氏や深沢、川崎、植田氏の力は大きい。袖師は加藤、青木両社会人と学校の太田氏の三人の指導組織と、後援会の力も大きくなって来たが、プレーの中ではまだ甘さがあり今一歩のところ。西河内は巻口薫氏が女子チームに手がけた為か地域のサッカーが盛んとなり、うすぐらいライトの中で地区の青年の練習風景も見られるようになりこれからが楽しみ。

和田島は六年生の人数不足で四年を使っての奮闘であったが、来年度は楽しみなチーム。昨年女子優勝の中河内は、倉住氏の好指導で二連勝かと思われたが、点の取り方がまずく残念であった。興津は柿本氏と体育主任の伏見氏と強力なバックアップで、社会体育としての立場が確立して来ている。特に昨年まで女子チームを育ててくれた志村広三氏が社会体育指導者として、女子チームの育成に力を入れていることはすばらしいことである。

最近特に力が入って来たのが浜田チーム、芹沢コーチをむかえ入れ、後援会組織もしっかりした中で八十人の団員ができてきたのは、市の中心地にあるだけに楽しみな事である。

岡も増田昌弘氏が一人気をはいて少年を育てているが、学区の体制ができていないため非常に苦労している。

西部リーグは非常におもしろい星あらそいとなった。優勝候補第一の飯田ＦＡが三保一と引分けをしたため有度二、庵原、入江がうかびあがって来た。昨年王座を江尻に持って行かれ五連勝の夢破れた入江が、ふたたび王座に挑戦できるいい機会であり、後援会も力が入る。庵原も西子、池田、西ヶ谷、鈴木と多くの全清水を出していたが、今一つパットしなかったが飯田ＦＡとの試合は、今期最高の試合を演じペースをつくった感じ。

有度一も中島氏が良く頑張った。大物食いの三保第一も、素質ある選手が多くこれからが楽しみである。清水も学校あげての協力体制により勝点をあげ、今後のＪＣ大会県大会予選が楽しみである。不二見はジュニアーが良い。特にＦＷ野村の力は、飯田ＦＡのエース遠藤のジュニアー時代を思い出させる、いいプレーをしている。バックの望月も将来性のある選手である。三年後が楽しみである。

高部は女子に期待したが昨年ほどの鋭さがない。女子チームは県大会に県内より二チームの招待があり、これから頑張ってほしいものである。今後十一月十七日、八日、二十三日、四、五日と県大会予選があり、本年度は一次予選で八チームに、二次予選に四チーム、最後の三次予選で三チームにしぼる形式を取っているが、今の力からいえば辻、江尻、飯田、入江、有二、庵原の六チームに小島、和田島、西河内、有一、不二見がどのようにくいこむかが注目される。

又新鋭浜田、と三保一がどの程度まで伸びるか楽しみである。女子招待の二チームも清水から一チームは完全に選出される事になっているが、これ又庵原、飯田、高部、興津のこれからの練習次第である。

少年サッカーとチームプレー

『自分の力を知る』

〝かわらはどんなにみがいてもかわらであり、宝石にはなりえない〟という言葉があります。たしかにかわらを宝石にすることはできない。しかしかわらのかわりはできないのです。

人それぞれにも自分の持っている持味があり、世の中で光る宝石の様な立場の人もあれば、かわらもしかも軒下のかわらの人もいるでしょう。しかしこの人たちは自分の価値を知っているべしょうか。

サッカーのプレーの中で良くみられるのが味方の選手の自分のミスの責任をむける事がありますが、これは自分の力を知らないプレーヤーです。もちろんどんな選手でもミスはあるでしょう。その欠点を味方に知ってもらい、カバーしてもらう事こそチームプレーの原則なのです。ですから本当のチームプレーができる人はゲーム中決して文句をいいません。

私の所属している芙蓉クラブに自工の先生がいますが、彼は今だかって審判はもちろんのこと、相手チームにゼェスチュアでさえアピールした事がありません。しかも非常に闘志の強いプレーヤーです。彼はよく私に「ぼくは先生としてプレーしている。いつ子どもが見ていてまねされるかわからないから、反則はしない事にしているのだ」と胸をはっていいました。私はサッカーをプレーするにはこの精神を忘れてはいけないし、自分の力を知っている人ができる事だと思います。彼は決して背のびをしていない生活をしています。彼らが宝石にならなくても美しきかわらとして宝石以上の値打ちのある事を忘れてはならないと思います。自分のミスが味方にどんな大きな損害を与えたかを感じる人が、ミスの少ないチームプレーのできる人だと常々思っています。

（哲）

全清水中学生少年団誕生！

目標は来年の全国大会

監督は三中の浄見氏

静岡県は少年と高校は日本一だが、中学と社会人は今一歩パッとしないの声を聞いてから数年過ぎ、過渡期だといいながら改善策が出なかったが、今回清水サッカー協会は本格的に中学生強化にのり出した。

まず手はじめに、若手中学指導者の手によって全清水中学サッカー少年団を結成。日本リーグの前座試合を皮切りに年間計画をたて強化することになった。

指導者には静岡県第一回コーチングスクールの卒業生であり、日本サッカー協会公認リーダーの浄見元昭氏、（清水第三中学）を監督に、コーチにはユースコーチングスクールの卒業生であり、公認ユースコーチの鈴木敏朗（清水第一中学校）同じく矢沢秀敏（清水第四中学）の二人があたる。アシスタントコーチに芙蓉クラブの加藤鋼重（興津中学）があたり、こまかい選手の世話係として主務を兼ね望月啓治（庵原中学）。上記の五氏のコーチングスタッフによって育成される事になった。

目標は来年の八月に予定されている全国サッカースポーツ少年団大会と、関西フェスティバルの中学生の部に参加することであり、他に県外との交流の代表チームとして常に常備軍としての立場をとることになった。今まで中学校単位でのみゲームを行なって来たことから、指導者の中にも「自分の学校以外の仕事をしなくても」と考えがちな人もいたが、この団の発足によって中学生サッカーが社会体育への第一歩をふみ出したといってもいいだろう。

選手諸君も学校代表でなく、市の代表としてのプライドを持ちプレーしてほしいものである。

メンバーは第一次全清水中学の候補選手

全清水中学生サッカー選手名

監督　浄見元紹（３中）
コチ　矢沢秀敏（４中）鈴木敏朗（１中）
アシスタントコーチ　加藤剛重（興津中）加藤剛重（興津中）
主務　望月敬治（庵原中）

位置	氏名	学校	学年	位置	氏名	学校	学年
ＧＫ	渡辺綱則	一中	２年	ＨＢ	鈴木信政	二中	２年
〃	山田和彦	六中	〃	〃	山本竜之	六中	〃
〃	今井雅隆	興中	〃	〃	杉山利広	七中	〃
		〃		〃	大石　誠	四中	〃
Ｂ	佐藤孝之	三中	〃	〃	小泉裕資	興中	〃
〃	鷺坂哲志	八中	〃	〃	入山正章	袖中	〃
〃	望月厚志	一中	〃	〃	伊口　靖	〃	〃
〃	友田享志	七中	〃	Ｆ	白滝　光	三中	〃
〃	山本　浩	〃	〃	〃	内山　篤	八中	〃
〃	森　守	〃	１年	〃	杉本幸久	八中	〃
〃	栗田　圭	五中	２年	〃	伊藤健一	一中	〃
〃	村田雅一	庵中	〃	〃	鈴木則男	六中	〃
〃	片平　淳	〃	〃	〃	前田　悟	五中	〃
〃	押見浩之	四中	〃	〃	黒木美利	〃	〃
				〃	望月通明	庵中	〃
				〃	鹿野勇一	四中	〃
ＨＢ	飯沼　勉	三中	〃	〃	長野　保	袖中	〃
〃	吉田憲史	一中	〃	〃	杉浦正徳	三中	〃

PEPSI

清水市民大会

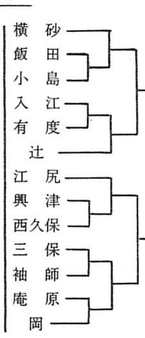
11月3日に決勝

四十一回市民体育大会は例年通り十一月三日清水東高で行われるが、高校の部は部活動一年の部と定時制の部に分けて行われる。今までクラブ活動で一部の者だけが参加していた大会から、どんなグループでも集団でも参加できる窓口をつくって行われるわけであるが、今回は参加六チームで行われる。

一方社会人の部は今年も町別対抗として行われ一チームの中に三十才以上の者が四名以上入っている事が条件で、これまた興味の持てる大会になりそうである。

なお市民大会の開会式が市営グランドで行われるがサッカー部の団長に小花公生氏、旗手に望月保次氏が決定している。

一般の部、町別大会の組合わせは次の通り。

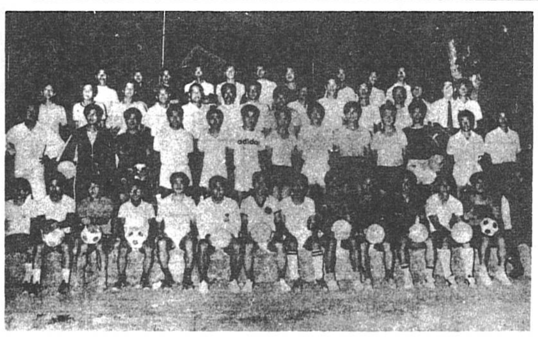


48年リーダースクール

東西に百名参加

四十八年度第六回静岡県サッカーコーチングスクールは今回、西は藤枝市で東は富士市で九月より開校される。

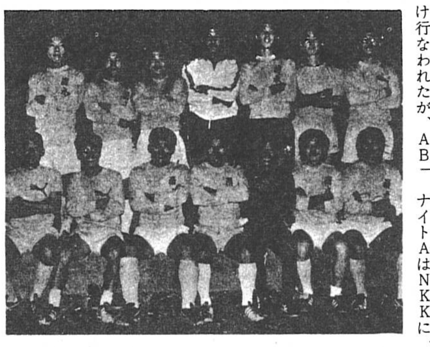
藤枝では長池実氏、富士では高田稔氏がスクールマスターで行われている。四年目になってリーダースクールの重要性とその効果を理解してか参加者が特に多くなり、藤枝会場には五十名、富士会場にも五十名の参加者を数えるほどになった。十二月の末に日本サッカー協会公認テストが行われるが受講者は真剣そのもの、ボールにとりくんでいる。



第四回ナイターリーグ

ナイトキングゴール

Ａ　Ｂ　共に優勝



第四回ナイターリーグは六月より十月にかけ行なわれたが、ＡＢリーグ共にナイトキングゴールが優勝した。

ナイトＡはＮＫＫに不戦敗の11対０の他、江尻に６－０の完敗しながらも他チームにも６勝をあげ、得点27勝点13で二連勝を飾った。Ｂリーグでもナイトキングゴールは ＭＦＣに11対０で敗れ、農協と中満と引き分けの他は全勝、勝点14で二位農協とは１点差であったが見事初優勝した。

十一月より第五回のナイターリーグもはじまるが、現在の二十チームに七中ＯＢと大嶋組の申込みがあり二十二チームとなる予定。

今回から一県二部リーグ東海リーグの選手は加入禁止するため、今までよりも市民にマッチした大会となるであろう。今までのＡＢリーグ制もやめ一部方式をとり、一チーム二十一試合となるであろう。運営も火水木金日の五日間を使い、週一回ゲームができるように計画する。

社会体育の針路

小島地区に注目！

現代の受験体制、生きがいの少ない社会生活は学生、社会人ともに組織人口、未組織人口、潜在人口、忌避人口に分極化し、学校でも企業でも運動クラブは選手中心、大会中心的活動の下に行事団体化しすぎてはいないか。

しかし、これらのポリレンマ化した課題を批判する前に、私達の核を作っている例を紹介しましょう。

★七中ＯＢの場合

中学時代の同窓で異る高校へ進学して、高校のクラブに加入していない学生からなるサッカークラブで、日曜日の試合を楽しみに社会人リーグに加盟して活躍している七中ＯＢの現実的価値を認めたい。

★小島地区の場合

年令的分割（少年団、中学、高校、青年団）組織をなくし、地域的自治体の再生を計り、全ての人にスポーツを保証する体制を作ろうとしている小島地区の針路に注目したい。

第6回静岡県サッカースポーツ少年団大会要項（ペプシ杯）

《主旨》　県内サッカースポーツ少年団員がサッカースポーツ活動を通じて親睦をはかるとともに，サッカー競技の普及と向上をねらい，あわせてたくましい少年の育成を目的とする。

1．期日　昭和49年２月３日（日）　２月10日（日）
2．主催　静岡県蹴球協会，静岡県スポーツ少年団本部
3．主管　静岡県サッカー少年団育成協議会
　開催地　浜松市
4．後援　ペプシコーラＫＫ
　静岡新聞社　静岡放送　静岡県教育委員会
5．参加資格　静岡県蹴球協会，静岡県スポーツ少年団本部に登録されている単位少年団で，静岡県サッカー少年団育成協議会支部主催の地区予選を経たチームとする。
6．チーム編成　代表者１名　監督１名　選手15名　計17名
7．中央大会参加チーム数
　10～12才（小学生）16チーム，13～15才（中学生）16チームとし，原則的に地元チーム１チームを加える。又不参加のチームがあった場合，開催地区チームを補充する。　決勝大会に女子２チームを招待する。
8．試合方法　トーナメント方式で行い，細則はサッカー少年団育成協議会にて決定するが，三位決定戦は行わない。
9．使用球　公認少年皮ばり４号使用（タチカラ），同中学５号とする。
10．参加料　予選，出場から中央大会をふくめて2000円とする。
　但し，サッカー少年団育成協議会に入会の団は参加料を補助する。
11．参加章　中央大会出場者全員に参加章をあたえ、参加チームには参加記念証をペプシコーラより授与する。
12．表彰　優勝チームには賞状並びに優勝旗（持廻り），優勝カップ（ペプシ杯），優勝者には記念メダルを授与する。準優勝，三位チームも表彰する。
13．申し込み　○予選参加希望チームは所定の申し込み用紙にメンバーを記入した上，各支部の責任者に11月25日までに提出。
　○最終中央大会参加申し込みは各支部責任者が１月15日までに本部に提出，当日までに申し込みのないものは不参加として補充の作業に入る。

第6回ＪＣ杯清水少年少女サッカー大会要項

主催　清水青年会議所（ＪＣ）
主管　清水サッカー協会　少年団育成協議会
後援　清水市教育委員会　静岡新聞社　静岡放送
期日　昭和49年１月12日(土)　13日(日)　15日(祭)　19日(土)　20日(日)
場所　市内小中学校及び市営グランド
部門　Ａ　男子ジュニアーの部（４年生以下）
　Ｂ　男子５年の部
　Ｃ　男子６年の部
　Ｄ　男子中学生の部１年の部
　Ｅ　女子ジュニアーの部（４年生以下）
　Ｆ　女子の部（中学生も可）
　Ｇ　中学生１年の部
　Ｈ　男子中学生３年の部
　以上８部門とするが，クラス単位，町別単位，子供会，サークル，スポーツ少年団等どんな単位でも参加可。但しチーム代表責任者が１名いること。
参加料　無料，但し会場までの交通費は参加者負担とする。
表彰　各部門２位までにトロフィー，全参加者に参加賞メダル
傷害　会場までの往復及びゲーム中の試合等すべて参加者の責任として行なう。
閉会式　１月20日（日）市営グランドにて全員参加で行なう。
申込み　所定の申込み用紙に記入の上12月10日までに１チーム16名として申込む。
申込先　和田島小学校　堀田（電話0543－95－2031）までに申込みのこと。
問合わせ　清水市住吉町９－６　ゴール内　清水サッカー協会（67－1970）
　清水青年会議所へ